

作者について



室生犀星 (二八八九—一九六二)

室生犀星さんは、大正時代から昭和時代の詩人、作家です。石川県で生まれました。

生まれてすぐに母親とはなされ、さびしい子ども時代を過ごします。ふるさとや母をなつかしく思う気持ちなどを表現した詩を多く残しています。

他の作品



室生さんの詩でよく知られているのは、「ふるさと
は遠きとほにありて思ふおももの／そして悲しくうたふもの」
です。これは、詩集『抒情小曲集』におさめられた
「小景異情いしじょう その二」のはじまりの一節です。

